



NPO PTPL “ともいき” 便り No.114

平成 29 年 (2017 年) 1 月 5 日発行

■小寒 (しょうかん) 1 月 5 日から 1 月 19 日までの節気

新年おめでとうございます。

皆さまにとって、素晴らしい一年になりますよう心より願っております。

今年最初の「ともいき便り・小寒」をお届けします。

小寒から節分までの約 30 日を「寒の内」といいます。次に大寒が控えているので、まだ“おおさむ”ではなく、“こさむ”のころですが、実際にはとても寒い、まさに冬本番の時季です。

さて、今年最初の「ともいき便り」は、NPO PTPL 理事の朝倉さんによる俳句解説、「蕪村：冬の句より」でお楽しみください。

◆冬ごもり 仏にうとき、こころかな

寒い冬です。仏さまを信じ、有り難く思う気持ちがうすく、頼りにする気持ちがおろそかになってしまったというのでしょうか。

人の思い、信仰の深さが弱くなってしまったと、蕪村さんは嘆いているようです。

人の気持ちの揺れ動き、そして不安定さが告白のように語られているようですね。2017 年、私たちには仏さまを尊敬し、祈る気持ちがあるのでしょうか。

各地で「テロ」が横行する時代、どのようにすれば「平和」と「幸せ」を保てるのでしょうか。そんなことが、ふと思われる一句ですね。

◆いばりせし ふとんほしたり 須磨の里

「いばり」とは小便のこと。おやおや、お漏らしをしてしまった。子どものころならいざ知らず、大の大人の「おねしょ」、大変です。すぐ干さなくては。

須磨は今の神戸のあたり。蕪村さん、旅先での失敗談でしょうか。なんと

正直な蕪村さんでしょう。

◆茶の花や 白にも黄にも おぼつかな

茶の花は、ふつう白いものと、私は思っていました。私の故郷「静岡県」の茶畑でよく見たことがありました。しかし、この句では黄色かも知れない、という。みなさんは、どちらだと思いですか。ご体験をお持ちの方は、ご一報いただけませんか。

◆磯ちどり 足をぬらして 遊びけり

浜辺を、忙しそうに走っていく「ちどり」。可愛い風景ですね。「チイチイ」と啼く声も聞こえてきそうです。ところがこの句では、ちどりが足を濡らして歩いているという。おかしな観察です。蕪村さんは、そう思いながら、その「面白さ」をあえて一句になさったのでしょうか。

文明が進む今日の、浜辺で「ちどり」の可憐な姿を眺める機会はあるでしょうか。自然環境を保持する姿勢の大切さを、つい連想したくなる一句です。

◆早梅（そうばい）や 御室（みむろ）の里の 売屋敷

早くも梅の花。早春を知らせようとして。かつて「花」といえば「梅」のことでした。しかし、現代では「桜」のことを言いますね。いつの頃からでしょうか。明治時代に入ってからでしょうか。お花見という習慣が、庶民に広まってからのことでしょうか。時代が、花の呼び方をかえたりしますね。時代の美意識が、そのようにしていくのでしょうか。

「名は時代につれ、時代は名につれ」ということでしょうか。万物は、時は、時代と共に変化していくようです。

「IT」や「スマホ」の21世紀、俳句はどのように変化し、発展していくのでしょうか。

朝倉 勇(NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是

明けましておめでとうございます。

2017年は明るい年であってほしいと願うとともに、皆さまの今年一年の健康

と幸せを祈っております。

NPO PTPLにとって2017年は「ジャパネスク元年」です。

私のジャパネスク運動の考え方を改めて、加筆修正したものをご紹介します。

皆さまのご支援、ご協力を期待しております。

★もっと知りたい。これが日本、これも日本。

私は、「ほんとうの日本はどういう国なのだろう」という関心を基に、同志と共に10年あまり考察・研究してきました。すると、多くの発見があり驚きました。

日本は「ふしぎ」に満ちた国でした。実に「ワンダーランド日本」なのです。

その風土、その自然、そこに生きる民族の感性・意識・精神・歩み・倫理性・文化・芸術・学術・多様な産物・製品は、質がよく、独特で、面白く、美しく、味わいがあります。そして、これまで気づかなかった多くのことに驚き、心に沁みしました。

日本は、知れば知るほど興味が湧き、世界に誇るべき魅力に満ちた国です。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」との思いは、この発見から生まれました。そして、日本の真実と魅力を国民の皆さんにぜひ知っていただき、謙虚さと共に自信と誇りをもっていただきたい。外国の人びとも、日本の本質を知って興味をもち「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」の大切さを理解していただきながら頻繁に来日していただきたい。そして、日本を真の観光立国・環境立国・生活文化立国・科学技術立国へ、と願っています。

私は戦後民主主義のもとで、「日本人である」ところから、あまりにもかけ離れてしまった昨今の日本人の存在が残念に、もったいなく感じられるのです。

日本を「ワンダーランド」と価値づけ、「もっと知りたい日本」と呼びかけること。

これまで、日本そのものの魅力と特長を、正しく総合的にPRする文化的プロジェクトがあったでしょうか。日本を知る、これは「国民的テーマ」だと申せましょう。国際化が進むいまだからこそ、検討に値するものと考えます。

幸いなことに、いまの世界の人々の関心が少しずつ日本に向けられています。「何かいいことありそうな、行ってみたい日本へ。」と感じ始めているのでしょう。その関心に応えるために、かろうじて現存の日本人にも残っている古くからの日本人の世界観と日本という国の価値観や魅力を伝えていきたいと考えます。

激しく変動する国際社会。ひとつのテーマは忽ち他の地域に波及し、あるいは速く消えていきます。普遍性と持続性に欠けた時代です。しかし、日本の本質「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」（ジャパネスク）を思うとき、欧米近代を超えた未来への可能性を強く感じ、これこそ国際的な普遍性をもつ次世代の価値観ではないかと思えるのです。地球市民すべてが願う「ともさち社会」への基本となる価値観であろうと考えます。

★日本の本質、それは、日本的なるもの「ジャパネスク」。

われわれの祖先は、人間の側から一方的に自然を見るのではなく、人間も自然の一部であり生かされて生きているという観念のもと、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。きっと、祖先の五感は、自然とそのリズムを十分に体感していたのでしょう。

日本独特の風土に影響されながらも、この知恵と体験を蓄積して発達してきたのが共に生きる“ともいき”という自然観・生命観であり、祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の生活のありようです。

また、われわれの祖先は外国からの文化を一方的に受け入れるのではなく、全く異質なものを、対立するものを共存させ、調和・和合させ、それぞれの良さを生かし、日本化し、独特の新しい文化を創り上げてきました。（歴史的に考察しても、和魂漢才・和魂洋才・和魂米才の経過、進捗状況、結果が示すとおりです。）この新しい文化を創り上げる創造力、生産力が共に生み出す“ともうみ”です。祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の学問に対するありようであり、知らなかったことを知るという強い好奇心といえるでしょう。

また、われわれの祖先は、自分だけが幸せに生きるのではなく、周囲の人も一緒に、幸せに生きるということを生活の旨とし、個の利より衆の利を重んじ、現在も大切だが未来をより大切にする社会をつくりあげてきました。これが共

に幸せに生きる“ともさち”という倫理観・価値観です。この“ともいき”と“ともうみ”と“ともさち”が日本人の基本的精神的基盤であり、その基層には共に和む“和”という人生観・生活環が流れています。(目に見えないジャパネスク)

そしてこの“ともいき”“ともうみ”“ともさち”そして“和”が日本独特の形あるモノ・コト・ワザ・文化を創り出してきたのです。(目に見えるジャパネスク)

この目に見えないジャパネスクと目に見えるジャパネスクの総称が私たち NPO PLANT A TREE PLANT LOVE が提唱する「ジャパネスク」、日本の本質です。

日本の、日本人の本質ともいえる目に見えない「ジャパネスク」“ともいき”と“ともうみ” “ともさち”そして“和”は、明日を創るために世界中が探し求めている普遍的なものになり、21世紀を生きる地球人にとって、共通の言語、共通の感覚になりうる可能性があると思います。

そのためにも、祖先が、先達が発達させ、伝承してきた“ともいき”と“ともうみ”と“ともさち”そして“和”という日本人の世界観をもう一度力強く、自信を持って取り戻し、さらに高め、世界中の人々に訴求し、理解してもらうことが必要だと考えます。

“ともいき”と“ともうみ”“ともさち”そして“和”という目に見えない「ジャパネスク」が、近い将来、地球上の諸民族の心と生活をつなぐ接着剤としての役割を果たすことができるのではないのでしょうか。そして、共に幸に生る「ともさち」の世界へ到達できればと考えます。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 2016年12月21日の「冬至」の日に、ともいき暦2017をアップしたことは前号でお知らせしました。

すでに、お気に入りに登録している方で自動的に2017年に更新しないというご意見が寄せられました。その場合には、

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

2016を2017と入力、または、年度を入れずに

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>と入力していただきますと直ちに2017年度版に移ります。そののち、お気に入りに登録していただければ幸いです。

- 本年も「ともいき便り」並びに下記にかかげる各サイトをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-3-3 虎の門南ビルスタンダード会議室虎ノ門南店4階—A

電話：03-6459-0264 FAX；03-6459-0284

Email：info@ptpl.or.jp